

第2部 基本構想

第1章 本県スポーツ振興の基本的方向

1 基本理念

スポーツは、心とからだの健全な発育・発達を促すとともに、明るく豊かで活力に満ちた「生きがい」のある社会の形成に大きく寄与するものであり、世界共通のすばらしい文化の一つであると考えています。そして、心身の両面に影響を与える文化としてのスポーツは、一人ひとりの心身の健全な発達に必要不可欠なものであり、人々が生涯にわたってスポーツに親しむことは、極めて大きな意義を有しています。

また、近年、少子高齢社会の進行や自由時間の増大など、社会環境の変化に伴い、県民のスポーツに対するニーズが多様化・個性化するとともに、次代を担う青少年の健全な心身の育成と健やかな生活を営んでいくための、健康・体力づくりの必要性が求められています。

このようなことから、本県では、子どもから高齢者、障害のある方を含めて県民一人ひとりが、生きる力をはぐくみ、いつでも、どこでも、いつまでも、それぞれの体力や年齢、能力や目的などに応じて、生涯にわたってスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会」の実現に向けた取組を行っていきます。

さらに、国際大会や全国規模の大会における本県選手の活躍は、子どもたちをはじめ多くの県民に夢と感動を与えるとともに、本県に活力と希望をもたらし、県民のスポーツ活動への参加を促すことから、国際的・全国的な舞台で活躍できる選手の育成・強化を図るとともに、専門的な知識を持った指導者の養成体制を整備するなど、競技スポーツの振興を図っていきます。

これからのスポーツの振興にあたっては、スポーツの持つ多様な意義や機能を十分踏まえ、県民の誰もが、生涯にわたって豊かなスポーツライフを送ることができるスポーツ環境の実現に向け、諸条件の整備に取り組んでいくことが重要と考えます。

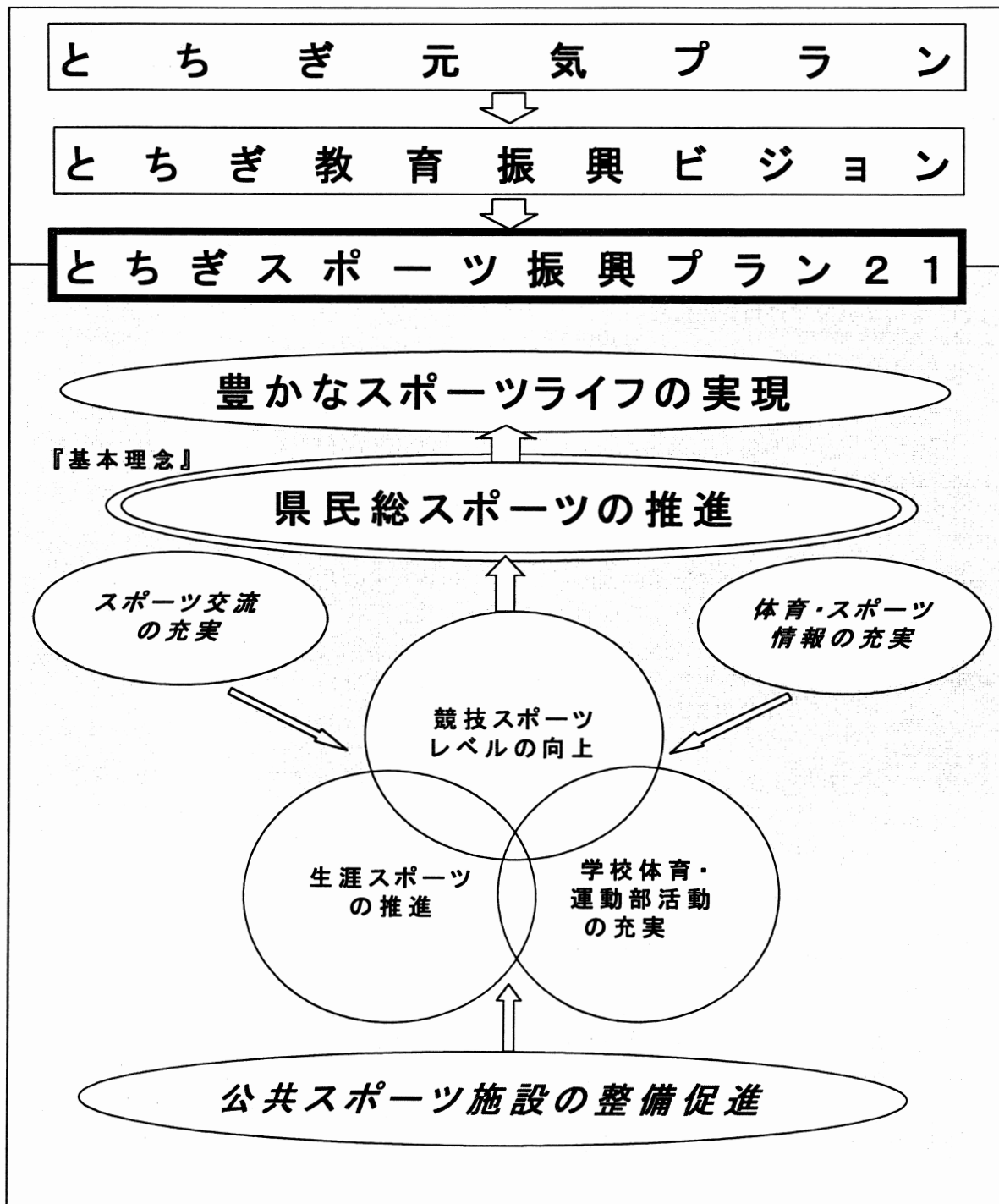
そこで、本県スポーツ振興の基本理念を

県民総スポーツの推進

として掲げ、県民の誰もがスポーツに親しみ、活力にあふれた人づくりを行い、豊かなスポーツライフの実現を目指します。

21世紀における、豊かなスポーツライフの実現を目指して本県体育・スポーツの振興を図るため、「地域におけるスポーツの充実」「学校における体育・スポーツの充実」「競技スポーツの充実」を柱として、市町村や関係団体等と一体となって、本県の基本理念である『県民総スポーツの推進』を展開します。

下の図は、それぞれの施策の柱と、その効果的な実現を図るうえで基盤となる、「スポーツ施設の充実」「スポーツ交流の充実」「体育・スポーツ情報の充実」の相互の関係を示したものです。



<とちぎスポーツ振興プラン21の概念図>

2 基本目標

栃木県のスポーツの振興に向け、プランの基本理念を達成するため、6つの基本目標を策定しました。それを基本に、それぞれの目標についての施策を定めました。

基本目標1 生涯スポーツの推進

**県民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも
スポーツに親しめる環境を整備します。**

少子高齢社会の進展やライフスタイルの変化など社会環境の急激な変化は、地域におけるスポーツの分野において最も顕著に現れています。これらの傾向は、今後一層進むことが予測され、地域におけるスポーツ振興の必要性は、生涯学習の推進や健康面からのアプローチも併せ、ますます高まるものと思われまます。

このような状況から、県民の多様化したスポーツニーズに対応したスポーツ活動の充実と、より質の高い技術・技能を持った指導者の養成・活用に努め、平成22年度までに、成人の週1回以上のスポーツ活動実施率40パーセントの達成を目指します。

基本目標2 学校体育・運動部活動の充実

**たくましく生きるための健康な体づくりや体力の
向上を推進します。**

学校における体育・スポーツ活動は、児童生徒の明るく豊かな学校生活の創造をはじめ、生涯にわたる豊かなスポーツライフの形成に重要な位置を占めます。

近年、児童生徒を取り巻く生活環境や生活習慣等の変化に伴い、体を動かす機会の減少による体力低下の問題やストレスの増大など、児童生徒の心身への影響が深刻化しています。

そのため、体育の授業、運動部活動、食を大切にする教育を進めるなど教育活動全体を通して、児童生徒の体力の向上や豊かな人間性の育成、また、運動やスポーツの楽しさ、喜びを享受することにより、生涯にわたってスポーツに親しむ資質を育成します。

基本目標3 競技スポーツレベルの向上

競技力向上のため、指導者の養成と指導体制の充実を図ります。

オリンピックや国民体育大会等における本県選手の活躍は、県民に夢と感動と希望を与え、明るく活力のある社会の形成に寄与し、県民のスポーツに対する興味・関心を高めます。

そこで、県体育協会と一体となり、関係機関・団体と一層緊密な連携を図りながら、一貫指導体制の構築を通して、国際大会や全国大会において活躍できる選手を育成するとともに、国民体育大会において上位の安定した成績が収められるよう競技力の向上に努めます。

基本目標4 公共スポーツ施設の整備促進

多様なスポーツニーズに応えるスポーツの拠点施設を整備します。

生涯スポーツから競技スポーツまで、多様なスポーツ活動に対応し調和のとれた振興を図る上で、それぞれの活動拠点となるスポーツ施設の充実是最も基本的な条件となります。県や市町村においては、スポーツニーズの多様化や高度化に応え、スポーツ施設の整備を図っていますが、今後、県・市町村がそれぞれの役割に応じたスポーツ施設の充実を図ることが重要となります。

そこで、「県民総スポーツの推進」を実現するため、市町村などとの連携・協力のもと、公共スポーツ施設の計画的な整備に努めます。

基本目標5 スポーツ交流の充実

スポーツを通じた様々な感動的場面や多くの人々との出会いにより、相互理解を図り、活力ある健全な社会の形成に寄与するため、各種の交流事業を推進します。

基本目標6 体育・スポーツ情報の充実と提供

スポーツに関する積極的な情報サービスは、スポーツに対する理解や関心を高めるとともに、スポーツの楽しさを啓発するなど、県民のスポーツ活動の推進に貢献します。

そこで、市町村や関係機関との連携を図りながら各種体育・スポーツ情報の提供に努めます。